

●能登半島地震発災時における能登空港ビルでの雨水利用

能登空港では元々、施設の屋根に降った雨水を地下にある雨水貯留槽（500m³）に貯め、トイレ洗浄水に使用。

能登半島地震の際、水が止まって給水車が来ていない状態でも、非常用発電を使ってポンプで水を汲み上げて空港内のトイレ洗浄水に使用。

給水車が来るまでの1週間、雨水のみでトイレ洗浄水を使用することができた。

■主な経緯

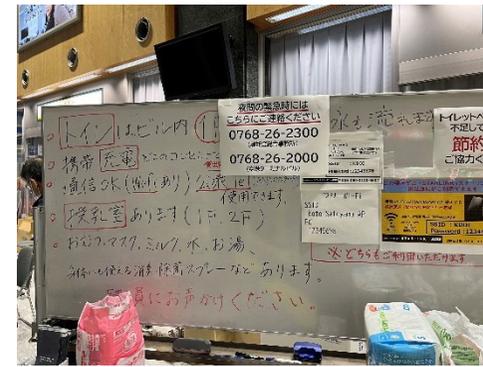
- 1/1 能登半島地震（輪島市震度6強）発生
断水、停電
非常用発電で火災が発生したため、ポンプで水を汲み上げることができず、雨水利用もできなかった。
- 1/2 非常用発電を復旧し、水をポンプアップしてトイレ洗浄に使用開始（トイレ洗浄のみで手洗い不可）
- 1/6 給水車の給水開始
給水車の給水と組み合わせることで、トイレ洗浄と手洗いも可能に。
避難者、地域住民、自衛隊、消防隊、警察官等1日3,000人（推定）がトイレを使用。
- 1/30 上水道復旧（雨水利用は災害前と同様に継続）



空港の貯水槽



建物地下に設置された雨水貯留槽



能登空港ビルでのトイレ使用状況

出典：国土交通省

■施設概要

- 名称：能登空港ターミナルビル
- 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造4階（一部地下1階）
- 面積：9,491.82m²
- 所在地：石川県輪島市三井町洲衛 地内
- 完成：平成15年（2003年）
- 雨水貯留槽容量：500m³

出典：石川県ホームページ

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/eizen/noto/airport/airport.html>

平時から雨水の利用を進め、発災時の代替水源として備えることが重要。

●能登半島地震発災時における「コンセールのと」での雨水利用

能登町観光・地域交流センター「コンセールのと」では、元々建物の屋根に降った雨水を地下にある雨水貯留槽（約30m³）に貯め、トイレ洗浄水に使用。

能登半島地震で設備に損壊が生じなかったことから、通常どおりトイレ洗浄水に使用でき、地域住民に水洗トイレとして開放した。

建物近傍の河川（町管理）から小型ポンプにより雨水貯留槽に給水し、雨水と合わせてトイレ洗浄水に活用。

雨水貯留槽があったおかげで、断水下でも水洗トイレの使用が継続できた。

■主な経緯

- 1/1 能登半島地震（能登町震度6弱）発生
断水
雨水貯留槽の水をトイレ洗浄水に活用。
- 1/2 建物近辺の河川からも雨水貯留槽に給水開始
断水中、トイレを地域住民に開放。
- 1/29 上水道復旧（雨水利用は災害前と同様に継続）



雨水ます内の水位確認等を毎日実施



雨水ろ過装置

出典：能登町教育委員会

■施設概要

- 名称：能登町観光・地域交流センター（コンセールのと）
構造：木造2階建
延床面積：1,997m²
所在地：石川県鳳珠郡能登町字宇出津ト字29番地2
完成：平成26年（2014年）
雨水貯留槽容量：約30m³

出典：能登町教育委員会

平時から雨水の利用を進め、発災時の代替水源として備えることが重要。